

2021/10/31

(うときゅういっきの「これから」 頭の痛い日々) 書庫版



早いもので、本日で10月も終わり。残すところ後2ヶ月で激動の2021年もおしまい。

先日、外国人従業員とその家族計6人の内東京在住組5人が「やっこさ」2回目のワクチン接種を完了しました。

残るは後1人。

ついこの間、北海道から東京に転居してきた従業員のまだ学生のお子さんのワクチン接種を待つのみ。

と言うのも北海道で得たワクチン接種券は東京では使えず新たに申請して取り直した関係で遅れているのです。

しかしそれも11月末日までには2回目を完了の予定。

この間6月にワクチン接種券を東京組が得て以来、長〜い予約獲得チャレンジ期間を経て、接種完了迄になんと半年が掛かった事になります。いや〜っ、長かったあ〜。

兎に角外国人従業員は事務手続きが自分では出来ない(文書に漢字が入ると、我々には蛇がくねくね這っている様にしか見えないアラビア文字に接したのと同様の現象が生起する)ので、全部会社側が代行。

会社側と言っても当然極小零細企業の当社には総務に当たる部署など在于る訳もなく、結局は自分が一人でやらざるを得ず、の状態なのでした。

(聞く処によると何でも米国のハワイ州ではふらりと立ち寄って「ワクチンお願いします」というと「ホイきた」と直ぐに一発ブスッとやってくれるらしいのとは大違い。ドライブスルーのテイクアウト並みに。まあそこまでイージーではないのですが、大違いらしそう

な事は薄々感じております)

ぼやきはこの位にして、いよいよ本題。

本題というのは勿論当社の事業についてです。

まずは第一声

「悪（わる）ッ!!」

緊急事態宣言明け以降、何故か売上が急減。

それというのもまず、通りを人が歩かなくなってしまうのです。何処かの「超田舎探索」番組ではありませんが、たまに人を見かけると

「おっ、第一村人発見!!」

みたいな状態なのです。

こうなってくると兎にも角にも、何か手を打たなくてはこの先従業員を抱えて食って行けません。

しかし打つ手は相当インパクトのある物でないと効果は得られそうにもありません。なんと言ってもお客様の財布の紐が固く締まっており、気分もかなり沈み込んでいる様子が見て取れるからです。

それを超えて財布の紐が緩み、口元や「ほっぺた」も緩むような何かをしないと生き残ってはいけません。

しかし、そんな物がそうそう簡単に見つかる筈もありません。あれば遠に手を打って居た訳ですから。

（別にサボっていた訳でもありません。

お国や自治体からの援助金等は「コロナ禍前から損益悪し。コロナ禍のせいに非ず」の理由で不受理となり、美事な迄に一切頂戴出来ず。

休業すればその日から食うに困る。

それで止む無く手探りながらも自力で「その手を」探し続けてはいたのですが、やはりそう簡単には)

さてもさてさて、どうしたものか。

頭の痛い日々でございます。

注)

イラストは 123room に著作権あり